

# 岐阜県立本巣松陽高等学校創立百周年記念事業

## 正門周辺整備事業

### 1 基本理念

# 新たな伝統の創造を目指して

#### 「不易流行」

江戸時代の俳聖 松尾芭蕉は、  
移り行くものの中にも、永遠に変わらない本質的なものがあると説きました。

この永遠に変わらないもの、それは守るべき伝統であり、  
次の世代に引き継いでいかなければならないと思います。

この百年の歴史のもと、本巣松陽高等学校は個性豊かな多くの人材を輩出してきました。



「個性豊かな、彩なす人材」を縦糸に、  
「これから次の世代を担うべき有為な人材」を横糸に、  
百年の時間軸で本校の「新たな伝統」を織りなしてほしい  
と願っています。

この地には、本巣中学校開設以来の教育に対する熱い思いが  
脈々と地下水脈の如く流れております。



そこで、あらためて、  
この地を、本校発展を担い、未来を牽引していく未来志向の空間として位置づけ、  
「新たな伝統の創造」を目指します。



## 2 基本コンセプト（空間イメージ）

本校の前身である本巢中学校は今から百年前に、この地に誕生しました。

そこには地域の発展、飛躍がかなうものとして、中等教育の振興を図ろうとした地元先覚者の方々をはじめ住民の**あふれる思い**や輝かしい未来を託した**願い**が込められていました。

こうした**熱い思いが今も息づいています**。



豊かな**緑**の象徴である、四百余幹の“**松**”垣、かつて**糸貫川**畔にあって、いまも「川の気配」が感じられる **自然環境**が脈々と受け継がれています。百周年記念事業である「**正門周辺整備事業**」はこうした「**百年の記憶**」を残しつつ、これまで多くの先人の英知と情熱が注ぎ込まれ、築かれてきた**百年の歴史と伝統**を、次の世代に**大切に引き継ぎ**、さらに**次の百年につなげたい**と考えます。

そこで、母校のゲートウエーであり、学びの森としてのシンボルである

**正門周辺を、豊かな自然環境と調和した、**

**「開かれた」「親しみ」「ゆとり」「美しさ」を感じる空間として創出**します。

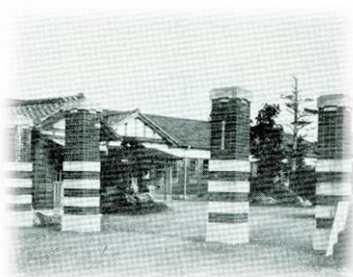


## 3 整備方針

21世紀は**環境の世紀**といわれ、**環境との共生**がグローバルな課題となっており、人にやさしい、自然にやさしい  
そうした**教育環境の整備**がまさに求められております。

**百周年記念事業**は、次の百年を見据え、**シンボルである正門を新たに設ける**とともに、**景観等との調和を図り正門周辺を再整備**し、さらには**駐車場の再整備**を行い、**学び舎に相応しい教育環境の充実を図ります**。

以上



本巢 100年



創立百周年  
記念事業

